

行政デジタル改革共創会議
協賛企業様向け協賛依頼書
(第2.0版 2026年9月11日更新)



本資料の説明

本資料の説明



本資料は協賛企業様（スポンサー）に向けて発出する文書のうち、「協賛依頼書」「協賛企業募集」に相当します。本資料を元に各企業様内での検討をお願いします。

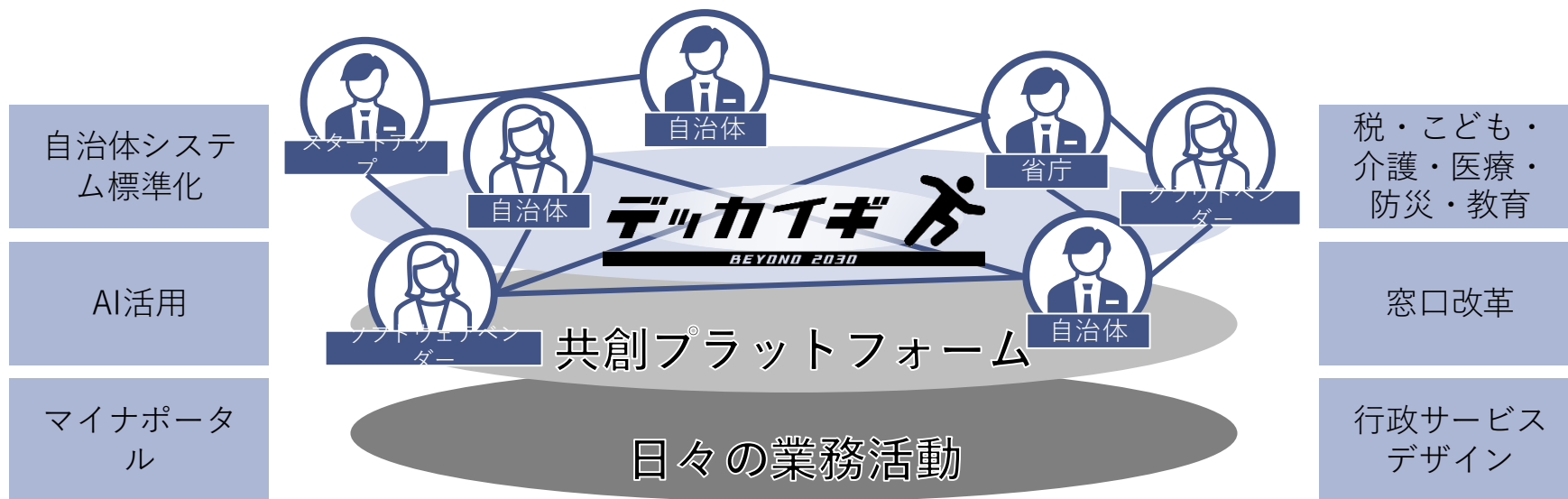
#	資料名	提供時期（目安）	資料の説明
1	協賛依頼書 (本資料)	2026年8月3日～	各企業様に正式に協賛を依頼する際の資料です
2	協賛企業 募集・抽選案内	2026年9月	協賛企業様の募集と定数を超える場合は抽選を行います
3	参加案内	2026年10月	参加が確定した企業様に向けて、ブースやセッションの取り扱いを案内します

デッカイギの説明

行政デジタル改革共創会議（デッカイギ）企画趣旨



国と自治体による行政デジタル改革の取り組みには、多様なステークホルダーの連携が不可欠です。デジタル改革共創プラットフォーム等による連携を更に促進させるため、オフライン企画として本イベントを開催します。



- ・ 「デジタル改革共創プラットフォーム」の参加者にも呼び掛けて企画します
- ・ 自治体を中心とするステークホルダーが一堂に集まることで、より一層の連携促進を目指します

行政デジタル改革共創会議（デッカイギ）開催概要



開催概要については、以下を予定しております。

イベント名	行政デジタル改革共創会議 in 羽田 ～どこかで落としたXを探しに行こう～
日程	2027年1月8日(金)・1月9日(土)
会場	羽田イノベーションシティ内 コングレクスエア羽田およびPiO PARK (〒144-0041 東京都大田区羽田空港 1丁目 1 - 4)
参加者	行政デジタル改革に関わるもしくは興味のある ステークホルダー（公務員、民間、アカデミア等）、協賛企業の社員等
参加規模	約600名

本イベントは、行政デジタル改革に関する非営利のカンファレンスです

テーマ：どこかで落としたXを探しに行こう



少子高齢化が進み、人口が減少していく日本で、自治体の行政機能が立ち行かなくなると危惧される「2040年問題」。この危機に備え、行政機能を長期的に持続可能なものとするため、国・自治体・民間で、行政のDX（デジタル・トランスフォーメーション）やAX（AIトランスフォーメーション）を押し進めてきました。

そうして走り続けるうちに、ふと立ち止まって考えます。——いつの間にか、「D（デジタル）」や「A（AI）」を導入すること、使いこなすこと自体が、目的になってはいないだろうか？

DやAが本当に力を発揮するには、その前提として、制度・組織・業務・風土・文化の抜本的な変革——すなわち「X（トランスフォーメーション）」の実現が欠かせません。ツールに目を奪われるうちに、肝心のXを、私たちはどこかに落としてきてしまったのかもしれない。

そのXを、もう一度みんなで探しに行こう。情報やデジタルだけでなく、窓口・税・こども・介護・医療・防災・教育など、さまざまな業務に携わるみんなで。拾い直し、語り合い、実現へと動き出すために。そんな思いを込めて、今回のテーマを「どこかで落としたXを探しに行こう」といたしました。

運営体制



運営体制については、以下を予定しております。

主催	行政デジタル改革共創会議実行委員会(デッカイギ実行委員会) 実行委員長 庄司 昌彦 (武蔵大学) 庄司先生を中心としたボランティア有志による実行委員会方式にて運営します 実行委員会の運営メンバーは現在調整中です
事務局	一般社団法人 耐災害デジタルコーディネーションセンター (略称：DIT/CC)
後援・協力	開催地自治体として、大田区役所様の後援をいただく見込みです
WEBサイト	https://www.dekaigi.org/

参考：今までの実績



2023年の第1回は262名、2024年の第2回は427名、2025年の第3回は489名が参加し、主催者企画と公募企画を実施しました。（参加者には協賛企業とスタッフを含みます）

ご協賛いただいた企業の皆様に、改めて感謝申し上げます。

詳細は別紙を
ご覧ください

2023年 1月6-7日 開催	262名 横須賀リサーチパーク
2024年 1月5-6日 開催	427名 羽田イノベーションシティ
2025年 1月10-11日 開催	489名 羽田イノベーションシティ



参考：

<https://www.dgl.jp/posts/40728947>

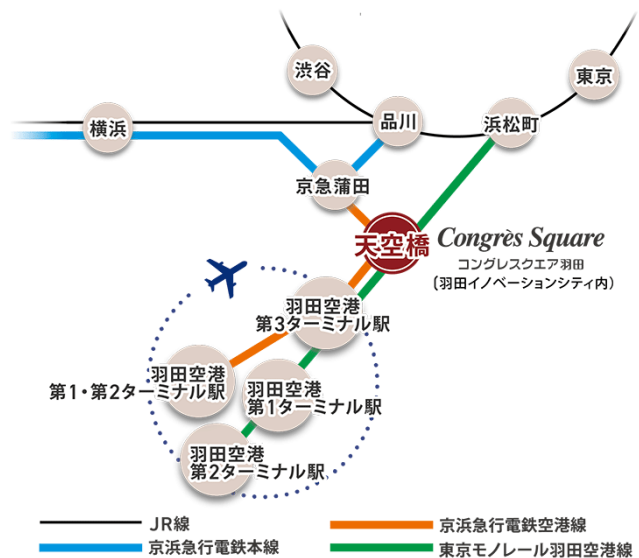
<https://www.dgl.jp/posts/53974918>

今年度会場の説明

羽田イノベーションシティ (HICity) アクセス



今回も前回と同様、羽田イノベーションシティにて開催します。

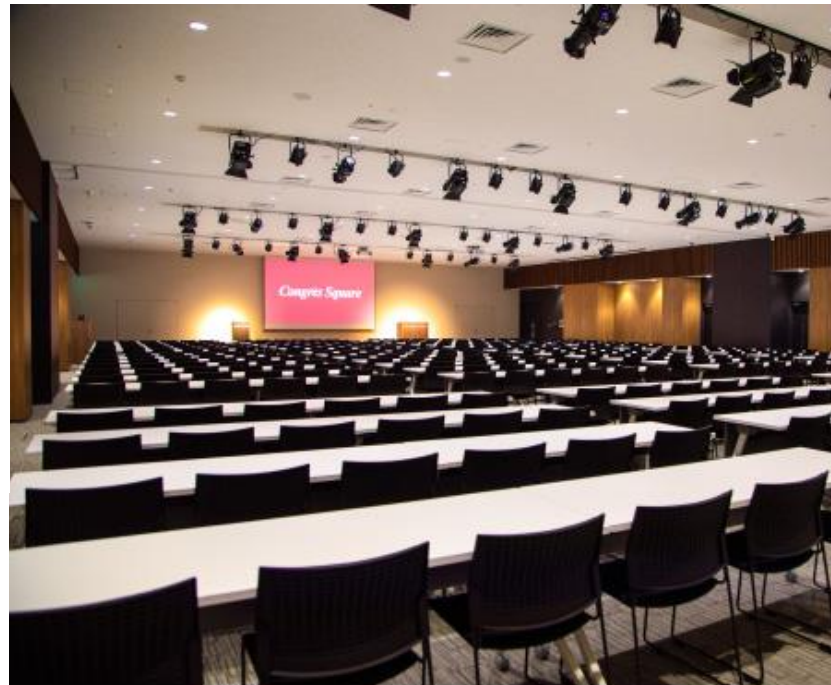


京浜急行電鉄空港線・東京モノレール 「天空橋」駅より徒歩 2分
 【天空橋駅まで】 「品川」駅より 13分
 「羽田空港 第3ターミナル」駅より 1分
 首都高速1号羽田線「羽田IC」より 3分



羽田イノベーションシティ内の地図 (コングレスクエア羽田、PiO PARKの所在地)

前回と同様、羽田イノベーションシティ内ゾーンJ 1Fにある「コングレスクエア羽田」およびゾーンK 2Fにある「PiO PARK (ピオパーク)」にて開催します。



参考：<https://congres-square.jp/haneda/>

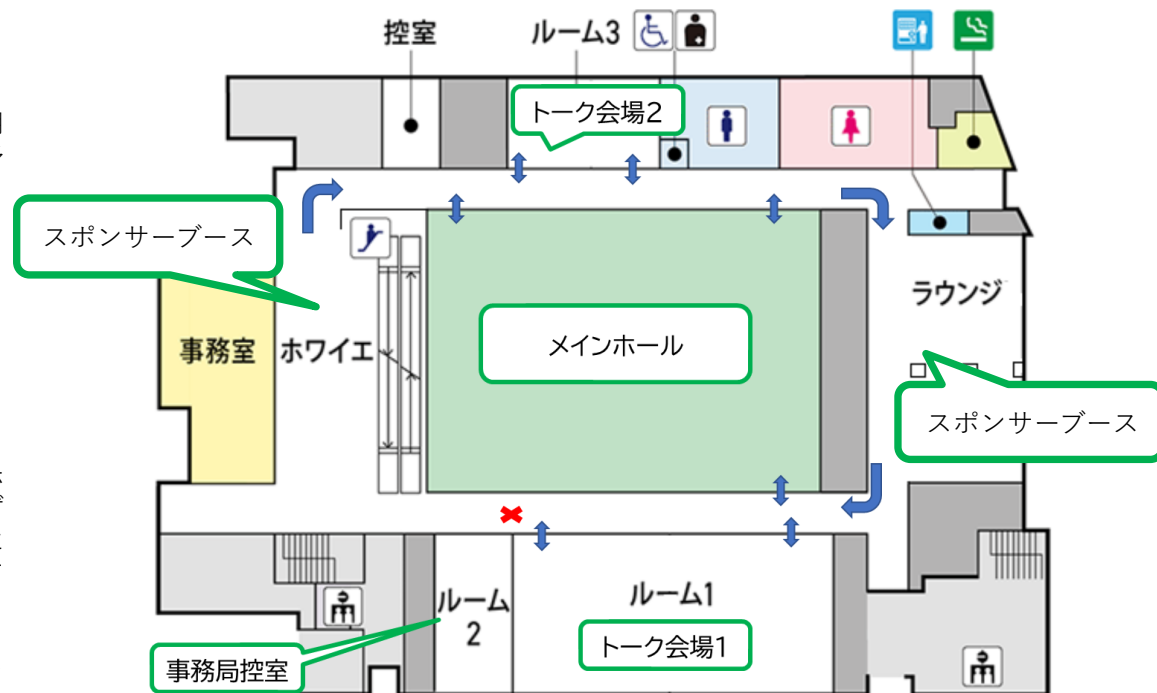
羽田イノベーションシティ メインホール

コンgresクエア羽田の内部図面

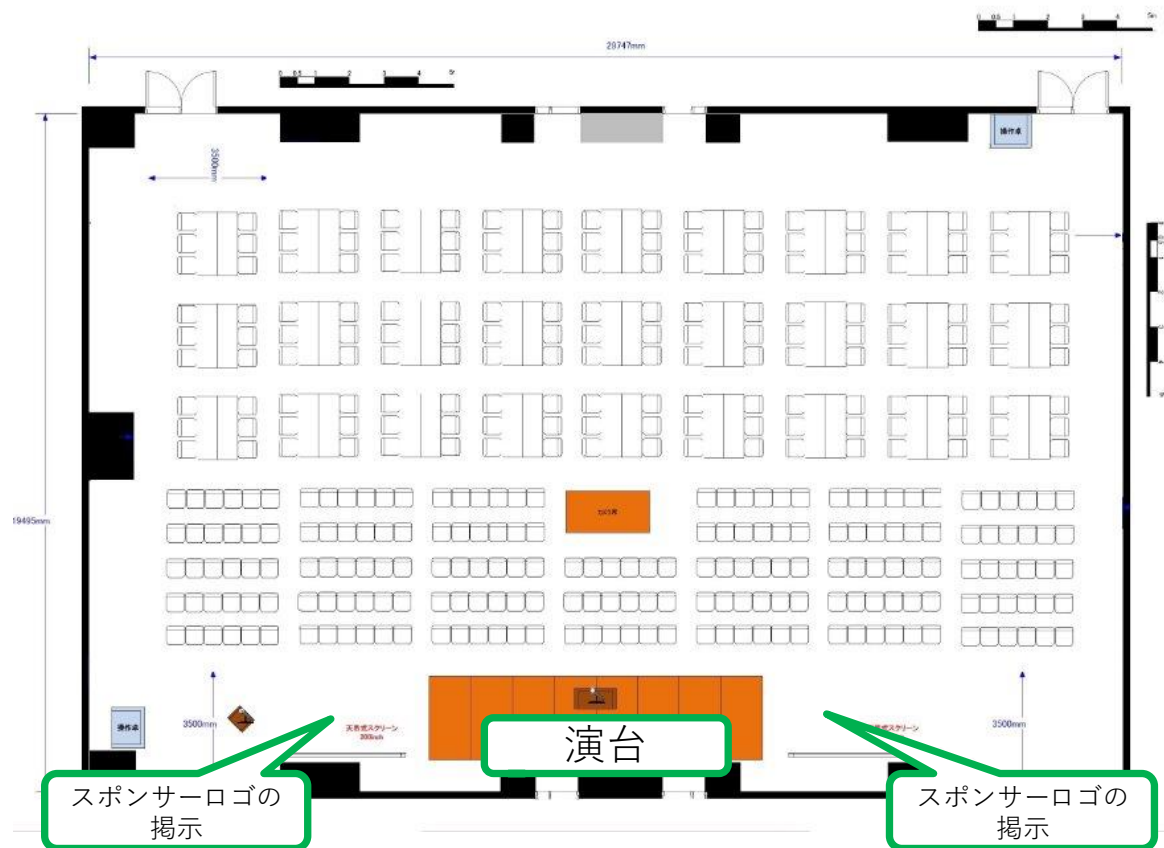
コンgresクエア羽田は、最大360人を収容可能なメインホールと3つの会場を持ち、多くの集客と交流接点の創出を目指しています。

- ・メインホール（最大収容席数360席）
全体集合イベント・キーノートセッションで利用するほか、複数の大規模セッションを実施する予定です。
- ・トーク会場1（最大収容席数204席）
講演やワークショップを行う会場です。
- ・トーク会場2（最大収容席数55席）
講演やワークショップを行う会場です。
- ・ホワイエ・ラウンジ（検討中）
スポンサーの展示ブースを参加者の動線の良いホワイエとラウンジに設置予定です。参加者が必ず一度は通るような導線を設置し、また、ブースに立ち寄ることを求める企画を置くなどを検討しております。

※第4回は交流会もコンgresクエアで開催予定です。



メインホール（案）



スポンサーロゴの掲示

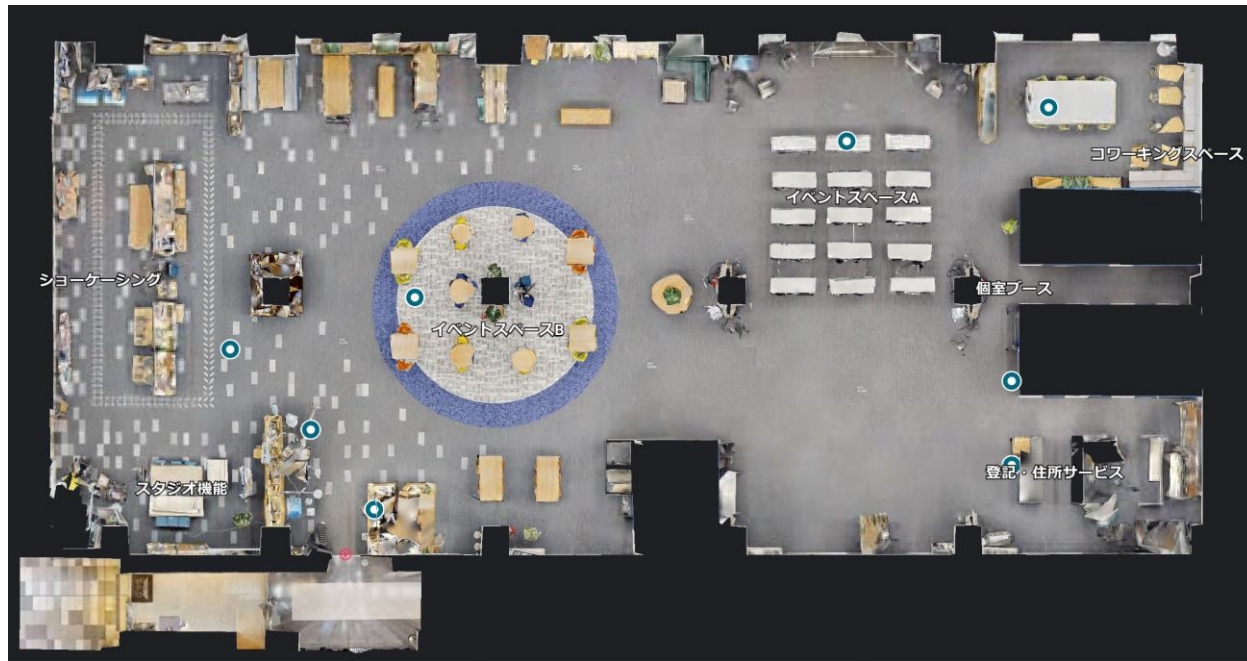
メインステージの両脇にデジタルサイネージを設置し、スポンサーの社名を表示します（協賛プランに応じて表示時間・サイズが変わります）

PiO PARK（ピオパーク）の内部図面(案)

「コングレスクエア羽田」と隣接する「PiO PARK」は、公益財団法人大田区産業振興協会が運営する施設です。こちらでは、ワークショップとコワーキングスペース拠点としての活用を見込んでいます。

- イベントスペース
（最大収容人数70人）
演台等を構えるイベントスペースです。公募企画で利用予定です。
イベントスペースは1時間帯あたり1イベントの実施の予定です。
- その他
他にも、オープン形式の会議スペースやコワーキングスペースがあります。

スポンサーセッション等で盛り上がった後、個別に会話を続ける際はぜひご活用ください。



参考①： <https://piopark.net/>（ピオパーク公式サイト）

参考②： <https://my.matterport.com/show/?m=BCMAyxKizzc>（会場のバーチャルデータ）

協賛プランの案内

一般参加枠について



第1回・第2回では、公務員以外としては、協賛企業様にのみご参加いただきました。第3回・第4回は行政デジタルに携わる方・関心のある方どなたでも一般参加者として申し込みできるように変更します。

企業の皆様には、行政デジタルに関わる多様なステークホルダーがフラットに参加できる場を提供するという本イベントの趣旨をご理解のうえ、協賛いただければ幸いです。

一般参加者枠（2026年8月時点の想定）

	参加者枠	参加費用
公務員	約350名	0円
公務員以外の方	約100名	0円

※ 左記以外に協賛企業の皆様、登壇者の皆様あわせて約600名規模の予定です。
(スタッフを含まず)

公務員は常勤公務員（再任用の方含む）のみとしております。民間企業の方が地方公共団体等の非常勤職員を兼務している場合には、公務員以外の方としてお申し込みください。

公務員は原則「常勤職員、再任用職員、及び週20時間以上勤務する非常勤職員など各種共済組合の組合員」とします。詳細はウェブサイトをご覧ください。

公務員以外の方の枠に関しては、**1企業・団体あたり3名まで**、かつ先着順とさせていただきます。
(4番目以降の方は事務局側でキャンセルさせていただきます)

また、協賛企業様は、上記の参加者枠とは別に、協賛プラン毎に設定された枠の上限まで参加者を出すことができます。その他の特典についての詳細は、次ページ以降をご確認ください。

協賛プランの概要説明



下記3種類の協賛プランをご用意しております。

	プラチナ 4団体まで	ゴールド 10団体まで	シルバー 20団体まで
現地への参加	10名まで	6名まで	1名まで
ショートセッションの 実施	有※1	—	—
簡易展示ブース設置 (1コマブース)	有 (ホワイエ又はラウンジ)	有 (ホワイエ又はラウンジ)	—
資料配付 (参加者全員に配布する バッグに入れる)	有	有	—
聴講用URLの共有	有	有	有
ロゴ掲載等※2	有	有	有
協賛金	350万円 (税別)	200万円 (税別)	25万円 (税別)

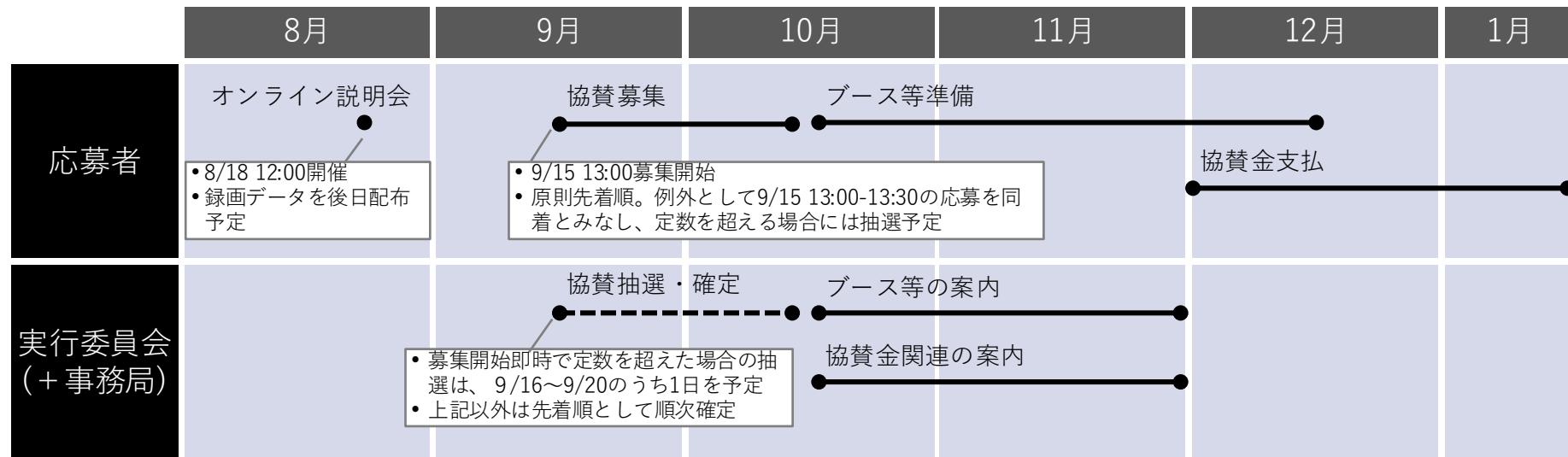
※1：全員が集まるキーノートセッションの前後いずれかに、10分間のプレゼンを行うことを想定しています。ご希望の場合は、1日目夜の交流会会場でのBOF企画も実施いただけます。(BOF：「類は友を呼ぶ」ということわざから来た会議形式で、特定議題について車座形式で行う意見交換)

※2：メインステージのデジタルサイネージで常時ロゴ掲載いたします。

今後のスケジュールとお問い合わせ先



今後のスケジュールは、以下を予定しております。



お問い合わせ先：デッカイギ実行委員会渉外部会の以下メールアドレスまでご連絡ください。

ext@dekaigi.org

申込方法等（1/2）



協賛の申込方法等については、以下のとおりです。

申込方法	以下の申込フォームよりお申込ください。 折り返し事務局よりお手続きについてご案内いたします。
申込フォームURL	https://forms.gle/ZC5EB6sofFc3tcD58 (フォームオープンは2026年9月15日13:00～)
申込期間	2026年9月15日(火)13:00 ～ (原則先着順です。例外として9/15 13:00-13:30の応募を同着とみなし、定数を超える場合には抽選を予定しております)
申込留意事項	行政デジタル改革に紐づくイベントのため、 請求書・領収書は原則PDF発行を予定しております。
その他 お問い合わせ先	その他お問い合わせは、以下メールアドレスまでご連絡ください。 ext@dekaigi.org

申込方法等 (2/2)



申込フォームの記載内容は次のとおりです。事前にご準備をお願いします。

- [会社名]貴社名をご記入ください。
- [協賛プラン]お申込みの協賛プランをご選択ください。（選択式）
- プラチナプランをご希望の方にお伺いします。 プラチナプランの抽選に漏れた場合、ゴールドプラン・シルバープランの抽選に申し込みますか。（選択式）
- ゴールドプランをご希望の方にお伺いします。 プラチナプランの抽選に漏れた場合、シルバープランの抽選に申し込みますか。（選択式）
- [連絡調整窓口（担当者氏名）]連絡調整窓口となる担当者様の氏名を記入してください。なお、代理店が窓口となる場合は代理店の担当者様氏名を記入してください。
- [連絡調整窓口（部門名）]連絡調整窓口となる担当者様の部門名を記入してください。なお、代理店が窓口となる場合は代理店の会社名（必要に応じて部門名も）を記入してください。
- [連絡調整窓口（メールアドレス）]連絡調整窓口となる担当者様のメールアドレスを記入してください。なお、代理店が窓口となる場合は代理店のメールアドレスを記入してください。
- [連絡調整窓口（電話番号）]連絡調整窓口となる担当者様の電話番号を記入してください。なお、代理店が窓口となる場合は代理店のメールアドレスを記入してください。
- [請求書・領収書宛名]請求書・領収書上に記載する宛名をご記入ください。
- [請求書・領収書明細]請求書・領収書上に記載する費目・数量は以下で予定しております。別途指定頂く場合は選択してください。
「行政デジタル改革共創会議 2026年度 協賛金 XXXスポンサー枠 / 一式」
- その他、お申込みにあたってご相談事項がありましたらご記入ください。